

2022年9月26日

令和4年度9月 学位記授与式学長告辞

九州工業大学長 三谷康範

本日、ここに令和4年度の学位記授与式を挙げる事ができますことは、本学にとりまして大きな喜びであります。栄えある門出を迎えられました皆さんに、まずもってお祝い申し上げます。また、この日まで修了生を物心両面から支えてこられました保護者、御家族の皆様のお喜びはひとしおと拝察し、衷心よりお祝い申し上げます。

皆さんは博士前期課程あるいは後期課程の大学院生活の間、新型コロナウイルス感染症とともに過ごされ、さまざまな困難を経験されたかと思います。皆さんが研究活動を行う中では、教員や仲間と直接会って議論をする時間の制約を受け、感染防止に配慮しなければならないなど、大変な苦労があったと思います。そのような中において、様々な困難を克服し、今日の学位記授与式を迎えられました皆さんに、深く敬意を表します。

現代の科学技術の進展は、自由で開かれた環境における様々な知性と個性を持った人々の出会いと交流を通じてイノベーションが起こされてきたことによるものだと思います。しかしながら、世界は今、多くの分断に晒されています。分断によって知の交流の機会が失われるとすれば、その損失は計り知れないものがあります。また、分断で線引きされた枠組みの外が見えなくなると、正しい判断と方向性を見定める機会を失ってしまいます。今日の学位記授与式を迎えられた皆さんは、このような中で幸いにも師と出会い、友を得て、多くの国々の研究者との交流によってここまで来られたものと確信しております。

大学における多様性に関して米国での興味深い調査結果があります。学生数が数万人以上の規模の大規模大学と数千人以下の小規模大学を比較して、多様性が高いのは後者の小規模大学であったとのことです。これは、大規模大学では自身と同じ価値観を持つ人物を比較的容易に見つけることができ、同種の考え方を持つ集団ができやすいのに対し、小規模大学では価値観の異なる人とも付き合わざるを得ない環境ができ、そこで、多様性が生まれる結果につながったと分析されています。多様性の高さはイノベーション創出の機会の多さに比例します。皆さんも、ここ九州工業大学でたくさんの良き友を得たのではないでしょ

うか？本学で展開された全ての出会いがこれからの皆さんの将来を豊かにして
くれることを確信しています。

これからも、自身の専門とは異なる多様で幅広い分野において活躍する人達
との交流を楽しみながら、ネットワークの輪を広げていってください。きっと、
皆さんが新たな視点を身に付けて新しい発想が生まれる機会を得ることができ
ることでしょう。

新型コロナウイルスは変異を繰り返し、並行して世界の紛争も拡大しており、
残念ながら、これらの終息の目処は付いていません。しかしながら、このような
中だからこそ、学べることは多くあるはずです。健康の大切さ、人の命の尊さ、
分断ではなく協力し合うことの大切さなど改めて考えてみましょう。ウイルス
の変異にも増して人間の知恵は絶えず進化できるのです。

最後になりますが、皆さんが、九州工業大学における多くの良き出会いを財産
として、今後の人生を楽しみ、活躍されますことを祈念し、皆さんの栄えある門
出を心から祝福申し上げ、告辞と致します。本日は、誠におめでとうございます。